



2023年度より 「リユース&リサイクルプログラム」を開始

CSRの取り組みにて、バイオデータバンクは廃棄物を制限し、循環経済を促進するために、リユースまたはリサイクルし、持続可能な社会の実現に貢献します。

製品スペック

- ・サイズ — (幅)27mm, (高さ)13mm, (奥行)43mm
 - ・重量 — 20g
 - ・素材 — (筐体)ABS, (ベルト部分)66ナイロン
 - ・防塵・防水性能 — IP67
 - ・耐熱性能 — ~80℃
 - ・振動・衝撃耐性 — JISB7001
 - ・アラーム音量 — 74dB
 - ・日本製
 - ・ベルト部分付け外し可能
- *本製品は医療機器ではございません。
 *本製品は深部体温の上昇を検知しお知らせします。
 *暑い環境下で起こりうる全ての体調不良に対応しているものではありません。
 *医師に集中度と診断される場合でも、合併症や他の理由によりアラームが作動しない可能性があります。
 *アラーム作動の音響に関らず体調の変化を感じた場合は休憩や給水を行い、それでも改善の無い場合は医療機関にご相談ください。
 *本製品には時計機能はございません。
 *アラーム音量は測定方法によって異なる場合がございます。
 *本製品で実施した防水性能試験は深さ1m・30分間の浸水試験です。
 *本製品の運用時は本体裏面の顔色のセンサー部分を肌で密着させてください。

開発・製造元

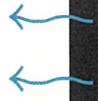
Biodata bank

Biodata Bank株式会社
〒150-0081 東京都渋谷区桜丘町29番17-302号
TEL:03-6416-4924
<https://biodatabank.co.jp/ja/>
本社:東京 支社:パリ 研究拠点:大阪

Biodata Bank株式会社は2018年に創業し、世界初の非侵襲の深部体温推定技術を開発しました。これまでは体調が悪い時に測定していた体温データ、点でのデータ取得ではなく、連続的に取得することで新たな価値を創出することができます。Biodata Bankは他産業で取得できるデータも活用し、様々な課題解決を通してより豊かな生活を実現します。

深部体温を推定する技術

- ・表面温度センサー
- ・身体の熱の出入を測定するセンサーの組み合わせで深部体温を推定



特許
取得済み

深部体温のポテンシャル



導入後の熱中症
発生件数
ゼロ報告多数

カナリアを着用して
熱中症対策への意識が
向上したという声

92%
(※社員へ)



製品・サービスに関する
詳細な資料はこちら

熱中症予防ウェアラブルデバイス

熱中対策ウオッチ カナリア®

01 簡単操作

電源ボタンを押し、手首に着用するだけでそのままご使用いただけます。



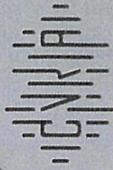
02 耐久性

防塵・防水性能は安心のIP67。夏の過酷な労働を想定した設計です。



03 管理不要

ワンシーズン使い切りのため充電ゼロ。また、Wi-FiやBluetoothなど、通信接続は必要ありません。



2023年度よりデータ分析サービスを開始

産業医監修 データ分析サービス

見えるんです™

使用後に製品を回収し、**貴社専用レポート**を提出

熱中症リスクの高い職種や作業分類がわからない

熱中症発生件数でしか今年の熱中症対策を評価できない



熱中症リスクが高い集団に予算を集中させたい

高機能デバイスを使っているが活かされていない

作業者の熱中症リスクを職種(工種)、拠点ごとに分析



熱中症リスクの見える化を当たり前の世の中に
 熱中症は個人差もあるため、WBGTのみの管理では限界があり、個人のリスクを見える化し適切に対応するのは、熱中症対策を検討する上で欠かせません。一方で多くの労働者に毎年高価な装置を配布するのでも難しく、その産業で導入され、効果・効率を考慮すると非常に有用であると考へます。多くの産業で導入され、熱中症リスクの見える化を当たり前の世の中にしていきたいです。



産業医 田中 完 医師
 日本製鉄株式会社産業医を経て、AGC株式会社農工工場産業医・健康安全管理センター所長、神奈川製鉄所トレニコンセンター総括指導医を兼務、社会医学系指導医、日本産業衛生学会指導医、労働衛生コンカクタント、労働安全衛生総合支援センター、産業医学相談員、産業保健東洋医学研究会、代表世話人、濱野・監修に「新アルゴリズム」薬物使用指書「診断治療ガイドライン」(新島医学出版社)「職場の健康がなえる」(朝メテックメディア)など、アルコール対策・高熱労働者対策を中心に講演多数。

使い方

アラームが鳴ったら LED が赤から緑の点滅に変わるまで必ず休憩!

腕に巻くだけで

→

深部体温の上昇を検知

→

熱中症リスクを事前に知らせる

→

光が緑に長ったら 作業復帰

→

水分・水補給や涼しい場所での休憩

→

熱中症リスクを音と光でお知らせ (音は12秒間、光は危険域にいる間は点滅し続ける)

実績

熱中対策ウオッチカナリア®は、2022年にはNHK「クローズアップ現代」～その「誤解」が危ない!「熱中症」対策最新報」でも紹介されるなど、熱中症未然防止の「保険」となる画期的な商品として日本はもとより欧州を中心に安全対策を徹底されたい多くの建設土木、メーカー、電力会社等にて幅広くご採用いただいています。

* 中央労働災害防止協会採用製品、スーパージェネコン推薦商品。

累計販売台数 **40万台**
(販売4年目)

導入企業数 **2,000社**

<p>環境省</p> <p><2019> 環境省と共同で実証実験</p> <p><2020> 環境省、埼玉県、日本工業大学と共同で実証実験</p>	<p>国土交通省</p> <p><2021> 国土交通省 NETIS を取得し、土木工事の入札条件時、当製品の導入が加算対象に</p>	<p>経済産業省</p> <p><2021> 経済産業省より 健康経営の取り組みとして、当製品を用いた事例を紹介される</p>	<p>厚生労働省</p> <p><2022> 厚生労働省より 職場における導入しやすい熱中症対策事例として紹介される</p>
---	---	---	--